

かけに標準化に向けた議論が収束することが望まれる。会計準則の不統一を残したまま、初歩的ミスが目立つ財務情報を用いても、残念ながら資源投下や効率性と財務指標との間に期待されたような関係は認められなかった。これが財務情報の質の低さによるものか、はたまた実際に関係がないのかについては、さらに検討を続けていく必要がある。

E. 結論

包括支払い制度下で、施設ごとの差別的支払い評価を行うための理論的検討を加え、現時点で解決されるべき問題点を整理したうえで、病院の会計と臨床の関係を指標化によって試行的に検討した。今後病院の機能区分などを図るためには、まず財務諸表の整備と、より幅広い参加病院のデータによる検討が不可欠である。

F. 研究発表

平成19年3月現在未発表

G. 知的所有権の取得状況

該当なし

謝辞：

本報告書をまとめるにあたり、以下の諸氏から有益な情報・示唆をいただいた。記して謝意を表したい。なお本報告書に記載された見解などはすべて第一報告者の責任に属するものである。

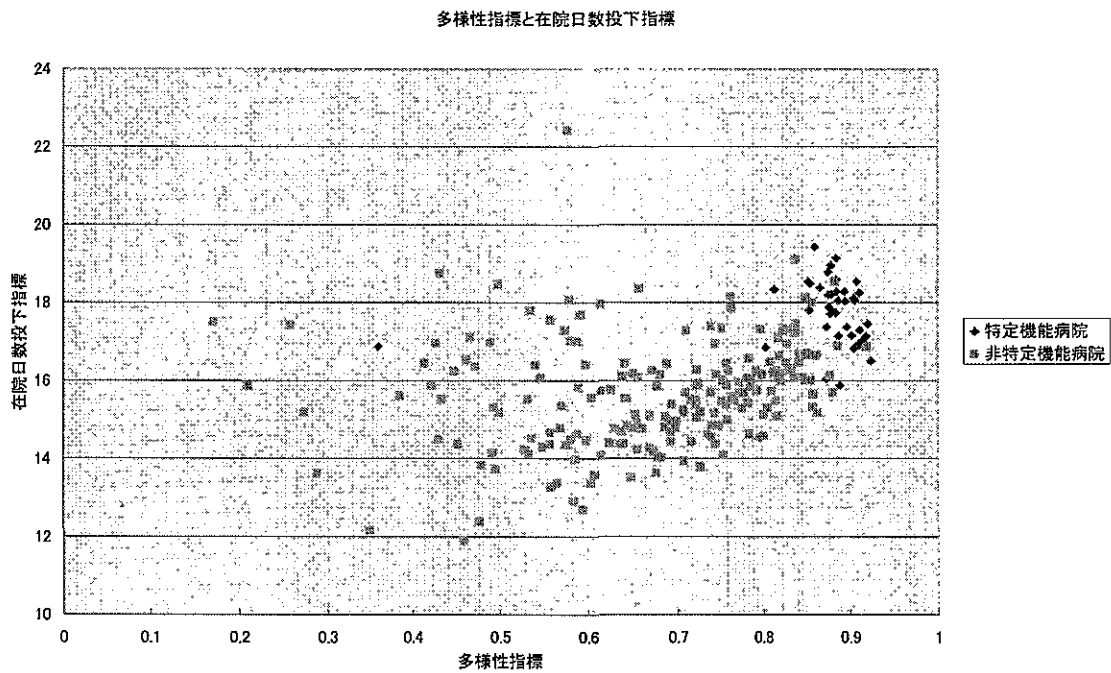
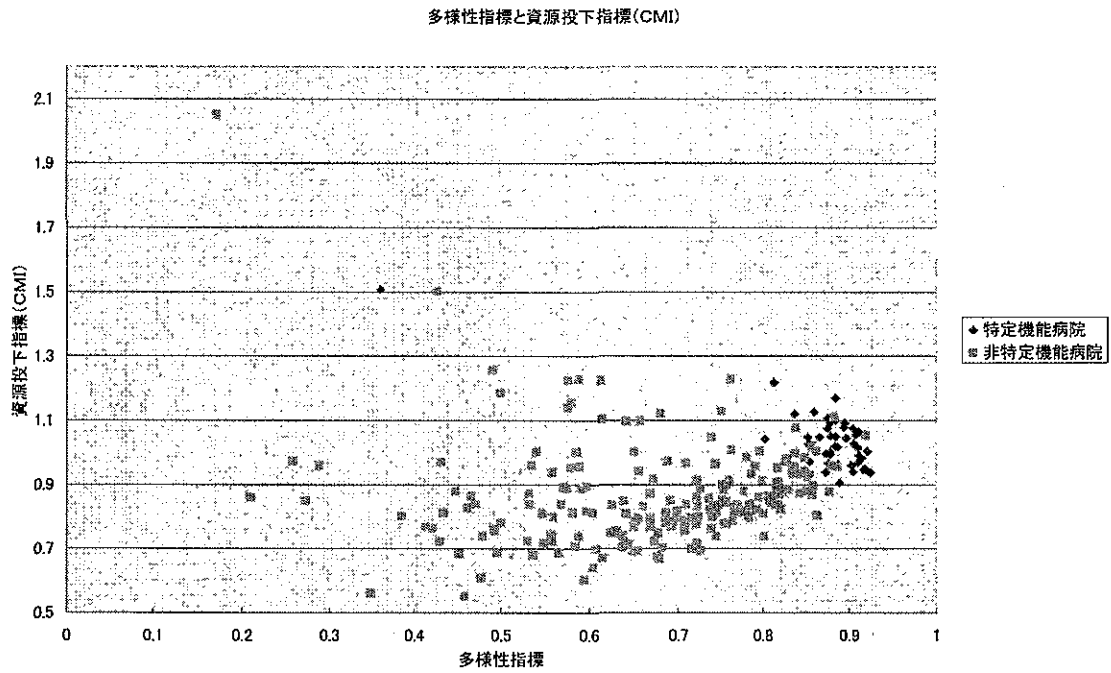
小島憲明（東京慈恵会医科大学財務部長）、菅原康宏（文部科学省高等教育局国立大学法人支援課財務経営専門官）、塩崎英司（東京大学医学部附属病院経営戦略課長）、西田

在賢（静岡県立大学大学院経営情報学研究所教授）

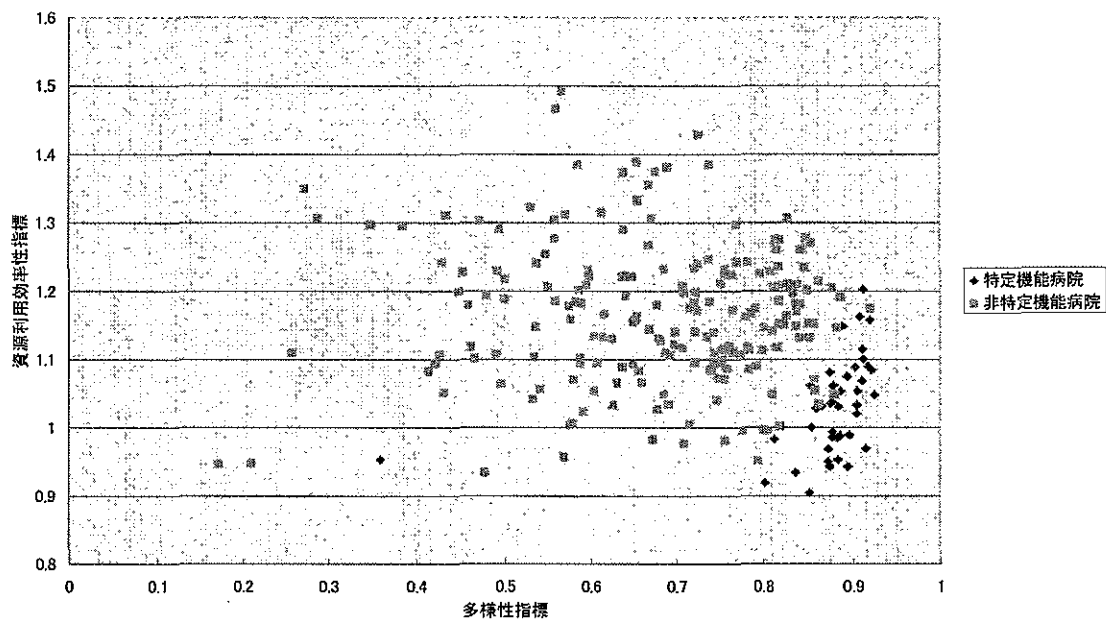
参考文献

1. 医療経済研究機構 平成17年度社会保険診療報酬支払基金委託事業 フランス医療関連データ集 2005年版 平成18年3月
2. 医療経済研究機構 平成11年度医療経済研究機構自主財源事業 欧州主要各国のDRG導入実態に関する調査研究II 平成12年3月 pp117-123.,
3. 医療経済研究機構 平成16年度社会保険診療報酬支払基金委託事業 オランダ医療関連データ集 2004年版 平成17年3月
4. 医療経済研究機構 平成17年度社会保険診療報酬支払基金委託事業 アメリカ医療関連データ集 2005年版 平成18年3月
5. 松田晋哉 ドイツの医療制度と診断群分類 社会保険旬報 No.2286 (2006.7.21), pp28-37.
6. 西田在賢 経営持続性から見た病院適正利潤の考察 社会保険旬報 No.2307 (2007.2.21), pp10-21.

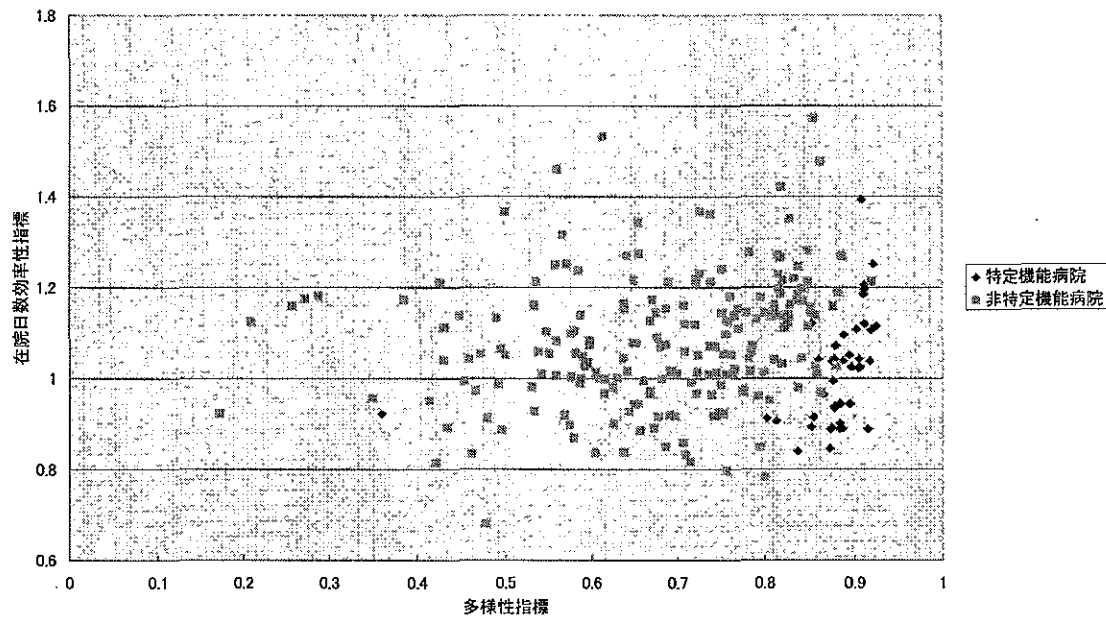
図1 多様性指標・資源投下指標・効率性指標の相関関係 (平成17年データによる)



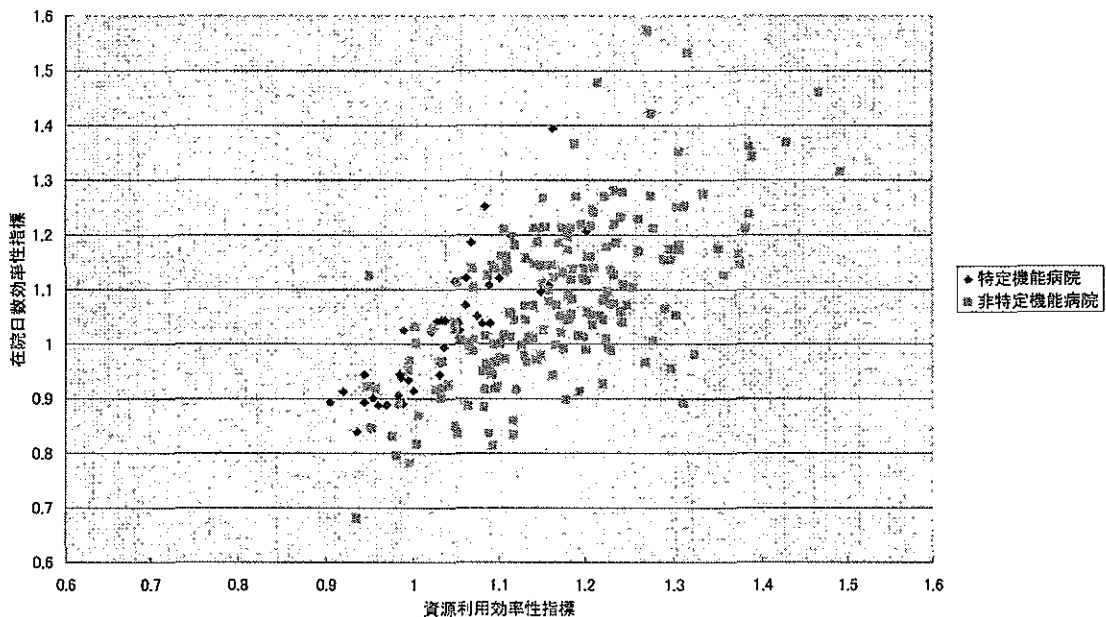
多様性と資源利用効率性



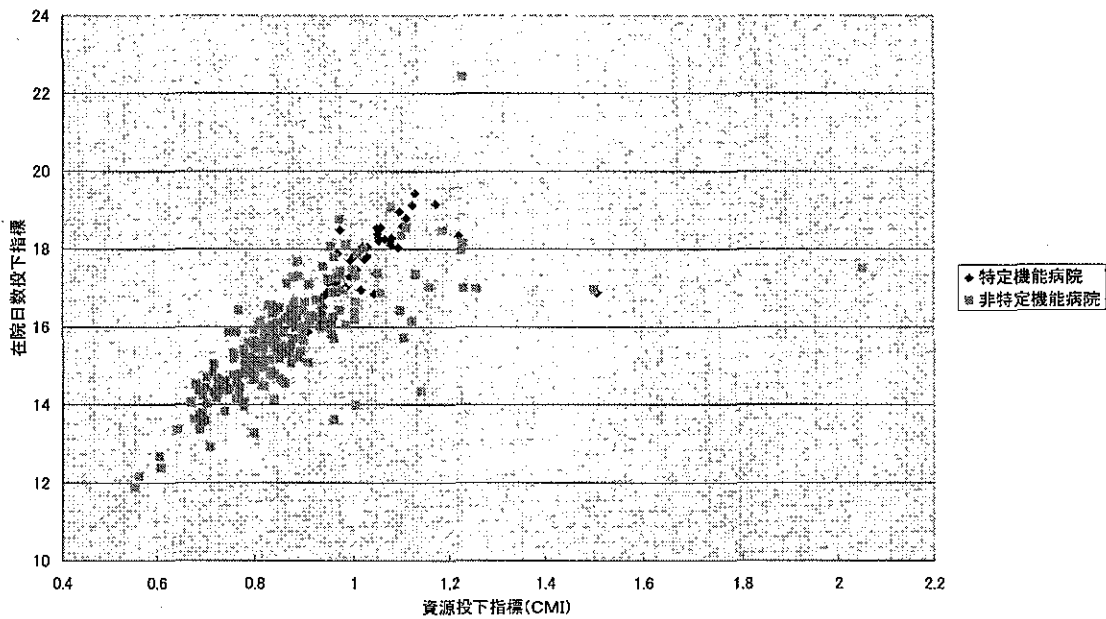
多様性と在院日数効率性



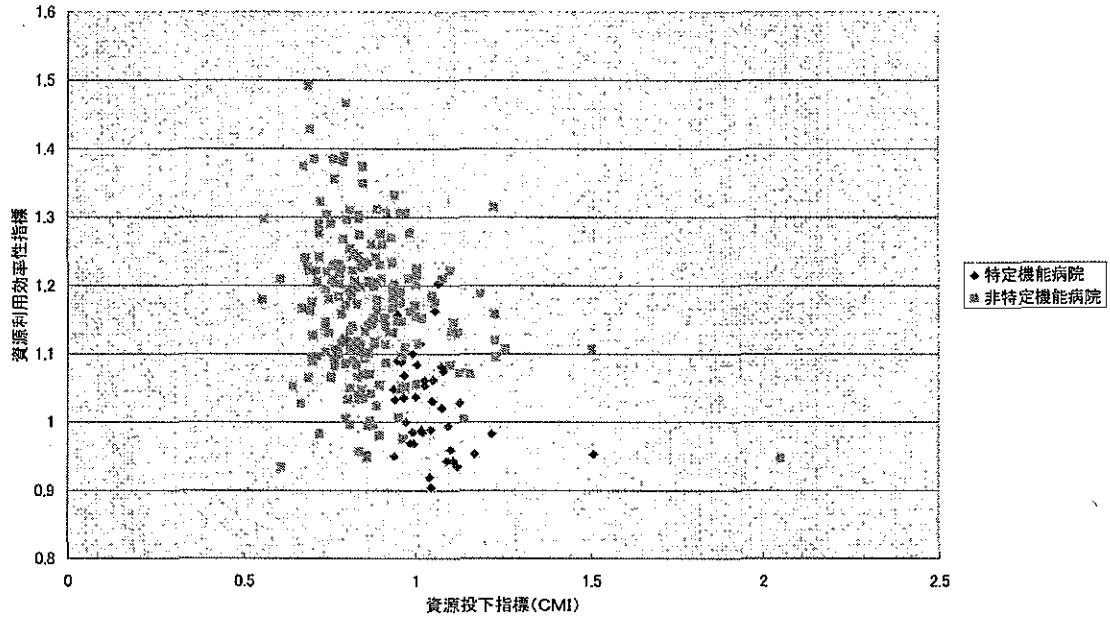
効率性指標の比較



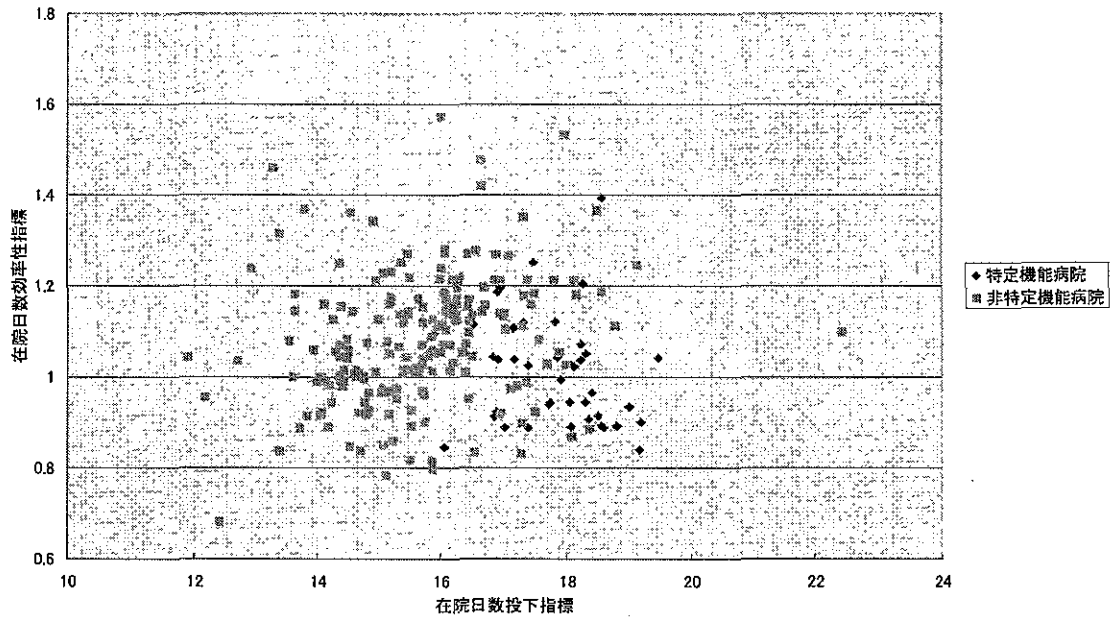
投下指標の比較



資源投下と効率性



在院日数投下と効率性



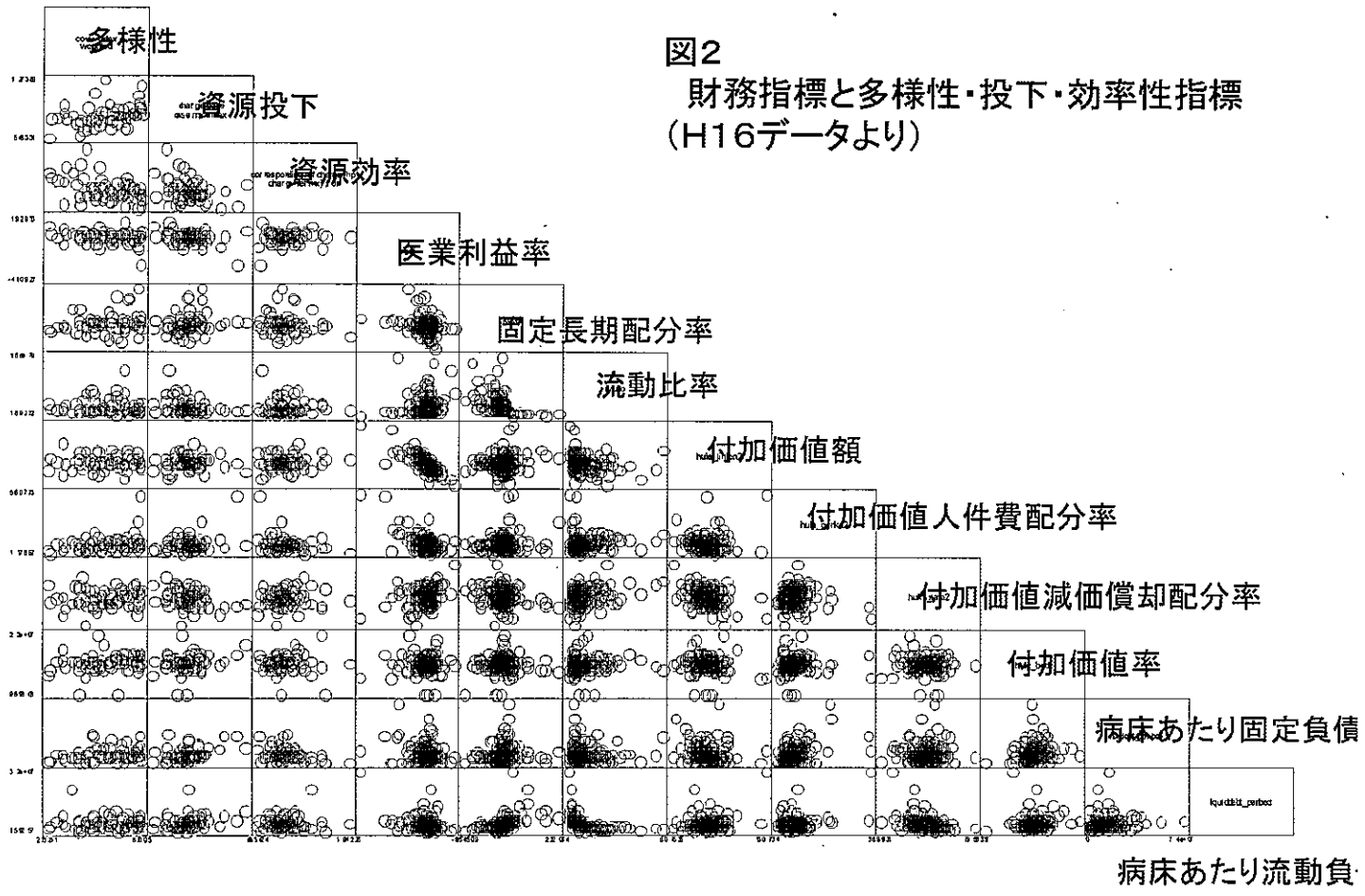


図2
財務指標と多様性・投下・効率性指標
(H16データより)